

会長のつぶやき 6号

5号では班長さんについてつぶやきましたが、6号ではさらに深刻な役員のなり手不足についてのつぶやきです。

私も平成5年から（但し平成27年1年休み）今迄役員をさせて頂き、平成29年から会長となり5年目となります。

令和2年6月23日の道新記事で役員のなり手が不足しているかとの設問で、95.6%がそう思うとの回答が出たほか、役員の年齢が70代44.2%、60歳以上が85%との報告がありました。一度役員になると死ななければ辞められないのが現状です。

澄川第四町内会では、町内会行事の一部だけならお手伝い出来る方を集い平成28年から澄IVサポーターズ組織を結成、現在では120名の参加を頂いております。当初はこの組織を活用し役員への働きかけを進めようと考えていましたが、「町内会行事には積極的にお手伝いするが役員になるのでは出来ない」との声が大半でした。町内会活動は、行政・澄川連合会との関係から役員のなり手が必要です。

私も若い時期から役員となりましたが、働いている時は生活の糧としての仕事が大仕事であり、町内会役員は辞退しようと思ったものです。

役員になることに二の足を踏むのは最もことですが、町内会活動は休む事は出来ません。

澄川第四町内会の現状は各部部長1名、副部長は青少年部3名、総務部2名、文化部・福祉部が各1名活動しています。

女性部・防災部・防犯部・交通安全部・財政部・保健衛生部・環境部は部長1名のみです。皆さんの中に任期2年は出来ないが、1年だけならやってみようと思う方はいませんか。副部長なら応援しても良いとお考えの方はいないでしょうか。

皆の協同の力と互助精神が出てくる事が町内会の力になります。

町民のみなさんの知恵と力を貸してください

